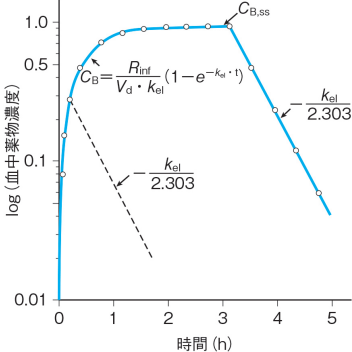


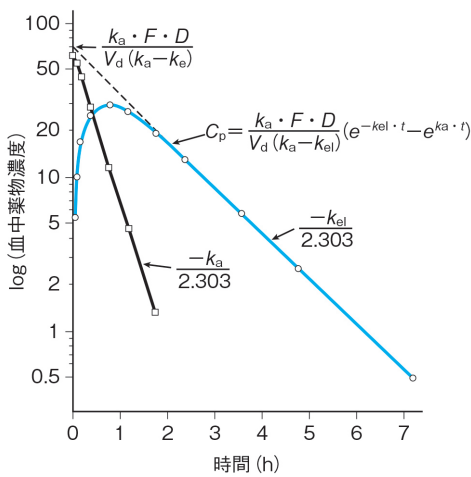
正 誤 表

「パートナー薬剤学」(第3版第1刷)

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

あわせて、第十七改正日本薬局方第一追補対応の情報更新を行います。

頁	行, 箇所	誤	正
38	図 1-32	図 1-32	図 1-32 (a)
	↓ 2 行	図 1-32	図 1-32 (a)
	↓ 8 行	図 1-32	図 1-32 (b)
39	図 11-32	図 1-32	図 1-32 (b)
71	↑ 6 行	C_p	C_b
		K_a	K_d
	↑ 4 行	K_a	K_d
105	表 1-31 最右列 ↓ 6 行目	(エリスロマイシン×ミダゾラム) 併用禁忌	併用注意
113	↑ 12 ~ 11 行	血漿中遊離系薬物濃度 C_f	血漿中薬物濃度 C_p
	↑ 10 行	C_f	C_p
149	表 1-43	胃内容排出時間	胃内容排出速度
	↓ 3 行	短縮 (※ 2 箇所)	減少
		延長	増加
154	表 1-8 → 3 列, ↑ 5 行	(分布, 結合タンパクの高齢者での変化) やや上昇	やや減少
176	図 2-8	(下図に差し替え)	 <p>図 2-8 持続点滴静注時の血中濃度の経時変化のモデル図 $C_{B,ss}$: 定常状態における血中薬物濃度. 持続静注終了後の消失速度は, 単回静注後のそれと同じである. k_{el} : 消失速度定数.</p>

頁	行、箇所	誤・更新前	正・更新後
178	図 2-10	(下図に差し替え) 	
		<p>図 2-10 経口投与後の血中薬物濃度の推移</p> <p>□：薬物の消化管残存量。○：薬物の血中濃度。</p> <p>時間 0 における血中濃度は、$\frac{k_a \cdot F \cdot D}{V_d(k_a - k_{el})}$ で表される。</p>	
179	図 2-11	除去速度の変化 除去速度定数	消失速度の変化 消失速度定数
180	図 2-12	E_{I_g} E_{I_H}	E_g E_H
283	↑ 3 行	第十七改正日本薬局方	第十七改正日本薬局方第一追補
285	表 4-1	(1.7. 経口ゼリー剤 の次行として以下を追加) 1.8. 経口フィルム剤 経口投与するフィルム状の製剤 1.8.1. 口腔内崩壊フィルム剤 口腔内で速やかに溶解又は崩壊させて服用する経口フィルム剤	
292	↓ 15 行	(↓ 15 行の次行として以下を追加) h) 経口フィルム剤 経口フィルム剤 films for oral administration は、経口投与するフィルム状の製剤である。 i) 製 法：通例、水溶性高分子とその他の添加剤の混合物を基材として、有効成分と基材を含む溶液を展延し、乾燥、または混合物を融解成形する。また、適切な方法により、組成の異なる添加剤を層状に積み重ねることができる。 ii) 規 格 ① 製剤均一性試験法：別に規定するもののほか、製剤均一性試験法に適合する。 ② 溶出試験法：別に規定するもののほか、溶出試験法に適合する。または適切な崩壊性を有する。 iii) 貯 法：容器は、通例密閉容器とする。 iv) 経口フィルム剤の小分類 口腔内崩壊フィルム錠：口腔内崩壊フィルム錠 orally disintegrating films は、口腔内で速やかに溶解または崩壊させて服用する経口フィルム剤である。本剤は、適切な崩壊性を有する。	

頁	行, 箇所	誤・更新前	正・更新後
294	↑ 6～5行	適切な有効成分の送達量の均一性を有する。本剤の有効成分の粒子は、空気力学的に適切な粒子径を有する。	別に規定するもののほか、吸入剤の送達量均一性試験法に適合する。本剤の有効成分の粒子は、別に規定するもののほか、吸入剤の空気力学的粒度測定法に適合する。
295	↑ 3～2行	本剤は、適切な有効成分の送達量の均一性を有する。本剤の有効成分の粒子は、空気力学的に適切な粒子径を有する。	本剤は、別に規定するもののほか、吸入剤の送達量均一性試験法に適合する。本剤の有効成分の粒子は、別に規定するもののほか、吸入剤の空気力学的粒度測定法に適合する。
299	↓ 3行	適切な放出性を有する。	適切な放出性を有する。なお、油脂性基材を用いたものは、放出性の評価に代えて溶解性の評価によることができる。
	↑ 6行	適切な放出性を有する。	適切な放出性を有する。なお、油脂性基材を用いたものは、放出性の評価に代えて溶解性の評価によることができる。
305	↑ 18行	分包品は、乳化または懸濁したものを除き、	分包品のうち経皮吸収型製剤は、
325	↑ 3行	オーガ Auger 法	オーガ auger 法
348	↓ 14行	t _{max}	t _{max}
	↑ 10行	④投与条件	④同等性の判定
349	↓ 10行	75 mg 錠	錠 75 mg

(株)南江堂 2019.1)